

エヌエフ基金 研究開発奨励賞 第1回から第13回までの130名の受賞者の皆様が、多方面の研究分野でご活躍されていることを、エヌエフ基金としては大変嬉しく思っております。

当基金では、受賞者の相互交流、知の相互作用を目的に、昨年「エヌエフ基金 サロン」を開設し、科学技術を巡るさまざまな話題を取り上げ、議論を進めております。

第6回サロンは、早稲田大学教授 三友 仁志先生をお招きして、話題をご提供していただきます。オンライン形式で開催いたしますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

また、東京・池袋にあるエヌエフ基金オフィスを配信会場としますので、お近くの方は是非会場へお越しください。今後はこのサロン活動を機軸に、研究者ネットワークを構築・強化し、継続的な交流の場を提供してまいりますので、どうぞご期待ください。

■日時：2025年7月31日(木) 17:00~18:30

■オンライン配信

EU発 Digital Product Passport 規制のインパクト： 透明性とデータで実現する循環型社会

早稲田大学

大学院アジア太平洋研究科 教授

みとも

ひとし

三友 仁志氏



欧州連合 (EU) は 2027 年に Digital Product Passport (デジタル・プロダクト・パスポート、DPP) 規制を導入することを予定しています。DPP とは、製品のライフサイクル全体にわたる情報を、ブロックチェーンを用いて改変不可能なデジタル形式で記録、共有し公開することにより、サステナビリティへの貢献とサーキュラーエコノミーの推進を目指した EU の重要施策です。市場の透明性を強化し、製品情報に接することを通じて、人びとの環境意識の変化および行動の変容を促すことを目的としています。

バッテリー (特に自動車)、電気・電子機器、テキスタイルから適用を開始し、他の製品にも拡大が予定されています。しかし、日本をはじめ EU 圏外の国々では、本規制の導入についていまだよく知られていないのが実情です。DPP は、デジタル技術により実物経済に大きな影響を与える社会的アプリケーションであり、サプライにとって 7 番目に大きな貿易相手国であり、輸出入品の多くが DPP 規制の影響を受けることが予想されます。今回のサロンでは、社会経済的視点から、DPP の概要についてお伝えし、そのインパクトや、日本の消費者は DPP 情報をどのように評価すると予想されるか、さらには政府やビジネスが取るべき対応などについてお話しいたします。

お申込み方法

- 以下のフォームよりお申し込みください。
受付後、参加方法の詳細をご案内いたします。
<https://forms.office.com/r/kGLFAGG8AW>



ご希望の方は、配信会場 (東京・池袋) にてご参加も可能。お申込みフォームにチェック項目がございます。

お問い合わせ先 エヌエフ基金 事務局 award@nf-foundation.or.jp

一般財団法人 **エヌエフ基金**